



報道発表

2020年7月30日

株式会社ディーピーエスへの投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：楠美公）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社ディーピーエス（以下「DPS」）（本社：京都市西京区、代表取締役：白鴻志）に対する投資を実行しました。

○今回の投資の概要

DPS は、DualPore™と名付けた新素材を用いて様々な分野の課題を解決すべく 2017 年 12 月に設立されたベンチャー企業です。DualPore™は中西和樹 元 京都大学理学研究科准教授（現 名古屋大学未来材料・システム研究所教授）が発明した貫通孔と細孔の二種類の孔を有するシリカモノリスをさらに粉砕することで生み出した無機粒子で、表面積が大きく、高い圧力をかけなくても液体が粒子の孔の中を隅々まで流れるという特性を持っています。

DPS が DualPore™を用いて最初に解決に取り組む課題は、貴金属やレアメタルのリサイクルです。例えば三元触媒や、電気部品のめっきに利用されるパラジウムは、製品の製造工程やリサイクル工程で生まれる溶液から数 ppm 程度まで回収して残りは廃棄されています。これは低濃度溶液からパラジウムだけを効率的に回収する技術がなかったためです。そのようななか、DPS は、DualPore™を用いて、小さなカートリッジで高い圧力をかけることなくパラジウム溶液を粒子中の隅々まで拡散させてパラジウムを吸着し、1ppm の低濃度パラジウム溶液からでも 99.99%のパラジウムを選択的に効率よく回収できることを示し、ユーザーから高い評価を受けています。

さらに DualPore™は、フローケミストリーの低背圧化、半導体製造・医薬品製造における原材料からの微量濃度金属除去、中分子創薬におけるペプチドの高精度分離といった次世代の産業と期待される分野における課題解決でも成果を上げています。

京都 iCAP は、貴金属やレアメタルのリサイクルや次世代産業に貢献する DPS の事業の将来性を高く評価し、同社に対して 1 億円の投資を実行しました。

株式会社ディーピーエス 概要

設立 2017年12月



事業内容 DualPore™粒子技術を応用した製品の製造・販売
本社所在地 京都市西京区
代表取締役 白鴻志

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は京都大学 100%出資子会社として、京都大学を中心とした国立大学から生まれた研究成果を活用する企業を対象に投資やその他の事業支援を行っております。2016 年 1 月には京都大学と民間企業からの出資を受け、京都 iCAP を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP 1 号ファンドを組成しました。同ファンドの満期は最長 20 年間に設定しており、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果の実用化を長期にわたって支援することが可能となっています。また、起業に興味を持つ方々を対象とした会員組織である「ECC-iCAP」の運営を大学から受託しており、スタートアップ企業の経営者候補の発掘・育成にも力を入れています。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
事業企画部長（広報担当） 河野修己
TEL : 075-753-7588 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp